



まる窓をのぞいてはははは！

—朝日遺跡 弥生時代のなぞ発見！—



考古学者も悩んでしまう、
ふしぎなモノを集めました。

平成21年9月19日(土)～平成21年10月25日(日)

朝日遺跡



めずらしい形の土器やふしぎなかたちの土器。丸い住居に四角い住居。
作りかけの石鏃や管玉。イノシシ、シカ、カキ、ハマグリ、ドングリ。。。

朝日遺跡は、現在の東名阪自動車道と名古屋高速道路が交差する清洲ジャンクション付近にある遺跡です。推定される遺跡の範囲は、0.8平方キロメートル(ナゴヤドーム約17個分)と考えられています。

朝日遺跡では、紀元前600～500年頃から西暦200年までの長い間、人々が住んでいたと考えられています。それは、おいしいものがたくさんあったからだと考えられています。弥生時代の朝日遺跡は、海が近く貝や魚がたくさん採れました。イノシシやシカもたくさんいたようです。ニワトリもいたようです。

また今回の展示会でご覧頂くように、朝日遺跡では、珍しいものや美しいものがたくさん見つかっています。銅鐸、銅鏃、巴形銅器、円窓付土器、鳥形の土器や木製品、細工の施された骨製品、細かい模様と赤色顔料を塗ったパレス壺など。。。すばらしく格好いい製品のほかに、作りかけの管玉や、それらをつくるための道具もみつかりました。

きっと朝日遺跡は食べ物も土器も道具も人も集まる、にぎやか場所だったのでしょ。

【朝日遺跡の推定範囲】



【2001.2.16の清洲ジャンクション付近 南から】

まるまどつき

円窓付土器

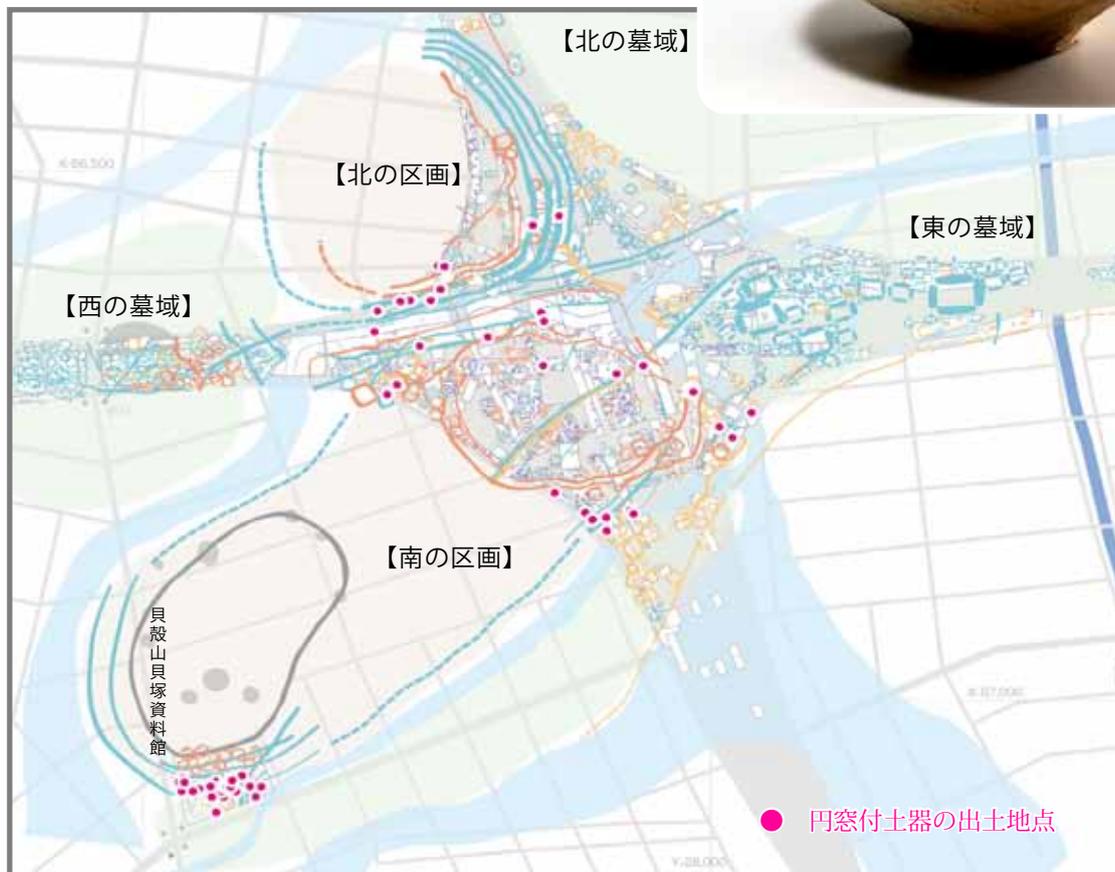
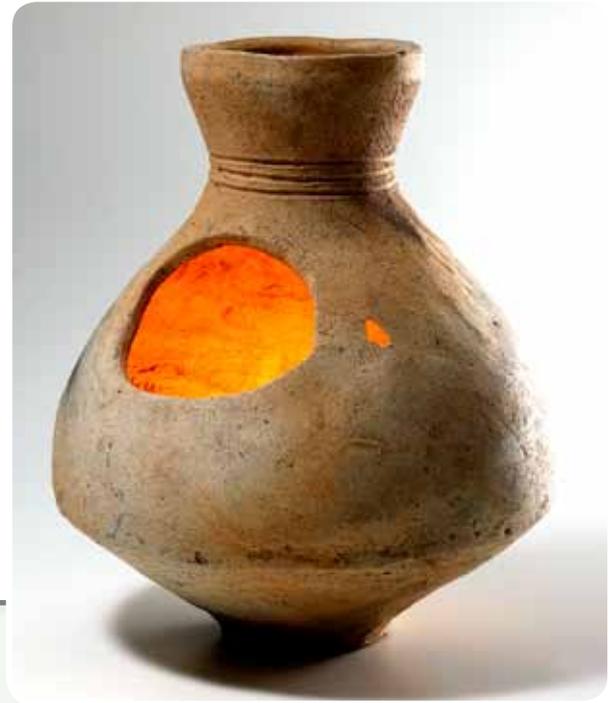


土器の横にぽっかり開いた丸い窓。考古学者は円窓付土器って名付けました。でも、だれも使い方がわかりません。アナタならどう使いますか？

マドは、土器を焼く前に開けられています。マドのついている土器はいろいろな形のものがあるようです。出土する場所は、人々の住居の中からは少なく、溝やお墓のそばが多いようです。

この円窓付土器は、朝日遺跡では300個以上出土しています。他の遺跡をみると、多くても数個しか出土しません。朝日遺跡だけとってもたくさん見つかるのです！

では朝日遺跡だけで使っていたかという、そうではないようです。遠く近畿の遺跡でも少数ですが、円窓付土器が見つかっています。



【円窓付土器】

【円窓付土器の出土地点】



弥生・朝日遺跡

map.2009



巴形銅器 (ともえがたどうぎ)



筒形土器に描かれた鹿の文様



朝日銅鐸

● 西田中



円窓付（まるまどつき）土器

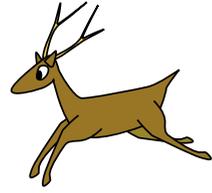
朝日遺跡発見ベスト 10

- 1 全国最大規模の方形周溝墓（東の墓地）
- 2 全国最多の方形周溝墓群が見つかった
- 3 東日本最大規模の大集落
- 4 弥生貝塚全国最大規模
- 5 東日本最古の袋状鉄斧
- 6 東日本最古の玉づくり
- 7 骨角器生産と種類 全国ナンバーワン
- 8 銅鐸・巴形銅器などの青銅器生産
- 9 円窓付土器の故郷 生産ナンバーワン
- 10 逆茂木（木のバリケード）がはじめて発見された

弥生時代前期
 弥生時代中期
 弥生時代中期後葉
 弥生時代後期



ふしぎな形の遺物



一体全体何に使うの？立たない土器。頭のない鳥形土器。
ハサミムシのような木製品。ちっちゃな土器たち。。。。

朝日遺跡では、ときどき、全くわからない遺物に出会うことがあります。考古学者は形から名前を付けます。

でも、使い方を考えると困ってしまうものがたくさんあります。

大判焼きのような土製品。

自立しない筒型土製品。

ちっちゃな土器達。

模様をつけた大きなボタンのような土器。

などなど。。。。



【筒形土製品】



【特殊土製品】



ゆうけつばん
【有挾板】

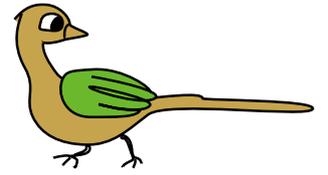


【特殊土製品】



【鳥形土製品】

パレススタイル壺



ほかの土器に比べて、表面が白く滑らかです。スタイルも美しく均整がとれています。この土器に細かな模様をつけて、色を加えると。。。。

この美しい土器はパレススタイル壺と呼ばれています。朝日遺跡のほか、濃尾平野の弥生時代の遺跡でよく見つかります。朝日遺跡では、その数や種類が多いことが特徴です。

特にガラス玉を埋め込まれた壺や黒い点がついたものが確認されたのは、朝日遺跡だけです。



【壺の口縁部に埋め込まれたガラス小玉】

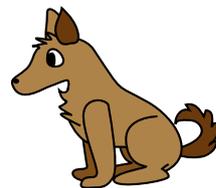


【パレススタイル壺】



【赤と黒の文様のあるパレススタイル壺】

どうたく 銅鐸の納め方



銅鐸はどうやってしまったのでしょうか？朝日遺跡では横にして埋めました。
一宮市の八王子遺跡では、逆さまにして埋めました。

朝日遺跡で出土した銅鐸は、横にした状態で出土しました。ふしぎな納め方ですね。

一宮市の八王子遺跡でも銅鐸が出土しましたが、こちらは逆さまに埋められていました。

納め方にはどんな思いが込められていたのでしょうか。



【八王子銅鐸 出土状況】



【八王子銅鐸】



【朝日銅鐸 出土状況】



【朝日銅鐸】

朝日遺跡の銅鐸は、高さ 46.3cm, 幅 26.3cm です。八王子遺跡の銅鐸はそれより小さく、高さ 21.6cm, 幅 13.4cm です。

使われていたと考えられる時期は、朝日遺跡のものが弥生時代中期の終わり頃、八王子遺跡のものが、弥生時代中期の中頃です。朝日遺跡のほうが、少し新しいようです。

清須越四百年事業キャラクター「きよ丸」



清須市・春日町合併記念事業キャラクター「うるん」

愛知県埋蔵文化財センター埋蔵文化財展
「清須越四百年事業」・「清須市・春日町合併記念事業」

円窓をのぞいてみれば

- 朝日遺跡 弥生時代のなぞ発見! -

平成 21 年 9 月 19 日～平成 21 年 10 月 25 日

編集・印刷・発行

愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター